

VOL.155

農協からのお便り

2  
2021

グリーン  
Green

地域と農業をむすぶJA広報誌



Topics

- ・ 新規就農者激励会
- ・ 未来を拓く協同組合
- ・ 令和1年産米最終精算報告

他

今月の表紙

新規就農者激励会

ういずONE&GAPーナ

農村青年意見発表で最優秀賞を受賞

1/22  
上川地区

誰が行っても大丈夫な組織作りと、安全安心な農産物を作りたい。

GAPの手法を経営に取り入れて、透明性の高い経営が必要のため、新しい人材を取り入れるために、従業員の詳細を考へていく。

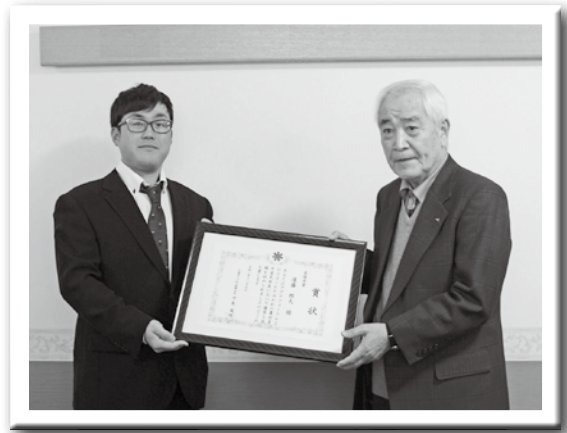
そして、今後の経営のために3戸で行った法人だが、親世代のリタイヤに向けて、従業員の確保を考へている。新しい人材を取り入れるために、透明性の高い経営が必要のため、GAPの手法を経営に取り入れて、誰が行っても大丈夫な組織作りと、安全安心な農産物を作りたい。

(主な概要)

親の農業に取り組む姿勢をみて、決めた農業への道。宮崎県での協力隊活動を通じて、農業が農村景観と地域の伝統文化を守ることに繋がっていることを学んで、さらに農業への思いが強くなった。

実家の法人化のタイミングで就農してはみたものの、機械作業の難しさを痛感。

ミニトマトの作業効率化を図るために取り入れた、「ういずONE」栽培は、設置・片付けの手間はありますが、非常に管理しやすく、今後も内外に広げていきたい。



昨年末に「アグリフォーラム2020 in かみかわ」が開催され、農村青年意見発表（アグリメッセージ）で上川地区の遠藤雅大さんがタイトル「ういずONE&GAPーナ」を発表し最優秀賞に輝き、1月22日に農協へ受賞報告がありました。



地元農産物で子供たちに笑顔を…

特産品を子供たちにプレゼント

12/14~21  
青年部



愛別町幼児センター (2/14)



青年部では例年、町内行事並びに各種イベント出店等を通じて地場農産物の消費拡大やPR活動、地産地消を行ってまいりましたが、新型コロナウイルスの影響により、多くの事業が行えなくなりました。組織活動が制限された現況の中でも、消費拡大や地元農業への理解促進を目的として、このたび愛別・上川町の幼児施設の園児151名に特産品（きのこ飯の素、大雪そば）をプレゼントしました。



上川中央保育所 (12/17)



上川幼稚園 (12/17)



のぞみ幼稚園 (12/21)

2名の新たな門出を祝う・・・

# 新規就農者激励会を開催



なお、本年度も美深高等養護学校あいべつ校3年生の皆さんが木製の激励状を丹精込めて制作してくれました。



新規就農を激励する新規就農者激励状贈呈式が開催され、今年度は2名の方々に激励状と記念品を贈呈しました。

今年度は新型コロナウイルスウィルス感染拡大防止のため、祝賀会は見送りとなりましたが、野口組合長より、新型コロナウイルスへの注意喚起と農業の先輩として激励のエールが送られ、受領者のお二方から大変心強い抱負が述べられました。

**令和3年度対象者**

(右記写真)

愛別地区 喜多 将吾 様	上川地区 渡邊 昌範 様
(右側)	(左側)

## 未来を拓く協同組合 教えて! 日本農業

### 未来を拓く協同組合

### 教えて! 日本農業

監修=JCA(日本協同組合連携機構)



### GAP

食の安全・安心確保や環境保全、労働安全などの観点から「GAP(Good Agricultural Practice:農業生産工程管理、ギャップ)」が注目を集めています。農業生産の工程の一つひとつを点検し、見つかった課題・問題点を改善していく仕組みで、都道府県が運営するもの、JGAPやGLOBAL G.A.P.のように第三者が認証するものなどがあります。

JAグループは2006年のJA全国大会でGAPへの対応を提起するなど、取り組みを推進。17年には「GAP第三者認証取得支援事業」を始めました。この事業は、JA全中やJA全農の職員、アドバイザーが、産地・生産者に対して資材の保管や農作業の注意点、改善点などを指導し、認証取得を目指すものです。

GAPに取り組むJAの割合(19年度)は米で37.9%、果樹で39.5%、野菜で47.8%に達しており、それぞれのJAで生産者が最も効果的な活用ができるよう、ニーズに応じた支援を展開しています。

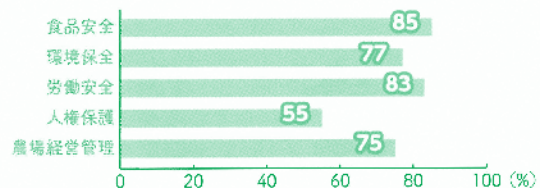
### GAPの実施(例)

農場内を点検し、課題や問題点を見つけ、改善

- |  |  |   |
|--|--|---|
| <b>食品安全</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●包装資材のそばに灯油など汚染の原因となるものを置かない</li> <li>●堆肥置き場や調製施設では、専用の履物を準備する</li> </ul> | <b>環境保全</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●廃棄物を農場に放置しない</li> <li>●農業空容器は分別して処分</li> </ul> | <b>労働安全</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●危険な作業はスイッチを止めてから行う(巻き込まれ防止)</li> <li>●危険箇所の掲示をする</li> </ul> |
| <b>人権保護</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●家族経営協定の締結、技能実習生の適切な労働条件の確保</li> </ul>                                    | <b>農場経営管理</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●責任者の配置、教育訓練の実施、内部点検の実施</li> </ul>            | <b>その他</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●商品回収テストの実施、資材仕入先の評価</li> </ul>                               |

### GAPの取り組み効果

[効果があった]と回答した経営体の割合



※2019年5月末時点でGAP認証を取得している農業者および団体を対象に調査を実施し、約600経営体が回答 農水省資料より作成

耕そう、大地と地域のみらい。



# 出荷頂きありがとうございます。 令和2年産米 入庫終了の報告について

令和2年産米の色選処理・検査及び入庫処理が12月21日で終了致しましたので報告致します。

令和2年産うるち米入庫実績表

令和2年12月31日現在 単位：俵

種別	区分	品 種 名	1 等					品 種 計	
			1次	2次	3次	4次	8次		9次
愛 別 地 区	主 食 用 米	ほしのゆめ	70.0					17.0	87.0
		きらら397	2,171.5						2,171.5
		ななつぼし	16,028.0		811.0				16,839.0
		ゆめびりか	2,249.5	2,378.5	1,561.0	207.0			6,396.0
		Yes! c leanきらら397	1,485.5					189.0	1,674.5
		Yes! c leanななつぼし	3,485.5		723.0		46.5	268.5	4,523.5
		Yes! c leanゆめびりか	1,475.0	497.5		1,039.5			3,012.0
		おぼろづき	22.5	48.0					70.5
		あやひめ	1.5						1.5
		ゆきさやか	985.0						985.0
	えみまる	139.5						139.5	
	酒 米	吟風		1,222.0					1,222.0
		彗星		986.0					986.0
きたしずく			361.0		95.0			456.0	
	小 計	28,113.5	5,493.0	3,095.0	1,341.5	63.5	457.5	38,564.0	
	備 蓄 用 米							0.0	
	加 工 用 米	6,678.0						6,678.0	
	合 計	34,791.5	5,493.0	3,095.0	1,341.5	63.5	457.5	45,242.0	

- ・主食用米の次数区分 1次=タンパク6.9～7.9% 3次=タンパク6.8%以下 8次=タンパク8.0～8.4% 9次=8.5%以上
- ・酒米の次数区分 1次=1等 2次=特等 3次=タンパク6.8%以下 4次=特等+タンパク6.8%以下
- ・ゆめびりかの次数区分 1次=第1区分(タンパク6.9～7.4%) 2次=第2区分(タンパク7.5～7.9%) 3次=第3区分(タンパク8.0%以上)
- 4次=第1区分S(タンパク6.8%以下)
- ・おぼろづきの次数区分 1次=第1区分(タンパク7.9%以下)

令和2年産もち米入庫実績表

令和2年12月31日現在 単位：俵

種別	区分	品 種 名	慣行栽培 1等		特別栽培 1等		品 種 計	備 考
			1次	2次	1次	2次		
愛 別 地 区	主 食 用 米	はくちょうもち	175.0				175.0	
		風の子もち	11,969.0				11,969.0	
		きたゆきもち	10,829.5				10,829.5	
	小 計	22,973.5				22,973.5		
	加 工 用 米	1,363.0				1,363.0		
	愛 別 合 計	24,336.5				24,336.5		
上 川 地 区	主 食 用 米	はくちょうもち					0.0	
		風の子もち	7,832.0		3,959.5		11,791.5	
		きたゆきもち	7,265.5				7,265.5	
	小 計	15,097.5		3,959.5		19,057.0		
	加 工 用 米	4,470.0				4,470.0		
	上 川 合 計	19,567.5		3,959.5		23,527.0		
合 計	主 食 用 米	はくちょうもち	175.0		0.0		175.0	
		風の子もち	19,801.0		3,959.5		23,760.5	
		きたゆきもち	18,095.0		0.0		18,095.0	
	小 計	38,071.0		3,959.5		42,030.5		
	加 工 用 米	5,833.0				5,833.0		
	合 計	43,904.0		3,959.5		47,863.5		



# 令和1年産米に係る最終精算報告並びにもち米追加概算報告

## 1. うるち米

単位:円 (1俵あたり)

品 種	等級	品 位	入庫時概算払			追加概算 1.12.25				追加概算 2.8.21		最終精算 2.12.10		
			入庫時概算金	JA独自仮渡金	入庫時概算払計	追 加概算金	JA独自仮渡金返還	差 引	合 計	追 加概算金	合 計	精算金	Yes! Clean 加算金	合 計
			A	B	C=A+B	D	E	F=D+E	G=C+F	H	I=G+H	J	K	L=I+J+K
ななつぼし	1等	一般(1次)	13,500	500	14,000	500	-500	0	14,000	300	14,300	401		14,701
		低蛋白(3次)	14,000	500	14,500	500	-500	0	14,500	300	14,800	401		15,201
		高蛋白(8次)	13,500	400	13,900	500	-400	100	14,000	300	14,300	401		14,701
		高蛋白(9次)	13,500	400	13,900	500	-400	100	14,000	300	14,300	401		14,701
ほしのゆめ	1等	一般(1次)	13,500		13,500	500		500	14,000	200	14,200	259		14,459
		高蛋白(8次)	13,500		13,500	500		500	14,000	200	14,200	259		14,459
きらら397	1等	一般(1次)	13,400		13,400	200		200	13,600	400	14,000	412		14,412
		高蛋白(9次)	13,400		13,400	200		200	13,600	400	14,000	412		14,412
おぼろづき	1等	第1区分	13,700		13,700	600		600	14,300	300	14,600	488		15,088
あやひめ	1等	区分なし	13,400		13,400	600		600	14,000	200	14,200	327		14,527
えみまる	1等	区分なし	13,400		13,400	600		600	14,000	100	14,100	223		14,323
ゆめびりか	1等	第1区分S	15,200	400	15,600	800	-400	400	16,000	300	16,300	707		17,007
		第1区分	14,700	400	15,100	800	-400	400	15,500	300	15,800	707		16,507
		第2区分	13,400	400	13,800	600	-400	200	14,000	100	14,100	595		14,695
		第3区分	13,000	400	13,400	600	-400	200	13,600	200	13,800	708		14,508
イエスクリーン ななつぼし	1等	一般(1次)	13,500	500	14,000	500	-500	0	14,000	300	14,300	401	250	14,951
		低蛋白(3次)	14,000	500	14,500	500	-500	0	14,500	300	14,800	401	250	15,451
		高蛋白(8次)	13,500	400	13,900	500	-400	100	14,000	300	14,300	401	250	14,951
		高蛋白(9次)	13,500	400	13,900	500	-400	100	14,000	300	14,300	401	250	14,951
イエスクリーン きらら397	1等	一般(1次)	13,400		13,400	200		200	13,600	400	14,000	412		14,412
		高蛋白(9次)	13,400		13,400	200		200	13,600	400	14,000	412		14,412
イエスクリーン ゆめびりか	1等	第1区分S	15,200	400	15,600	800	-400	400	16,000	300	16,300	707	100	17,107
		第1区分	14,700	400	15,100	800	-400	400	15,500	300	15,800	707	100	16,607
		第2区分	13,400	400	13,800	600	-400	200	14,000	100	14,100	595	100	14,795
		第3区分	13,000	400	13,400	600	-400	200	13,600	200	13,800	708	100	14,608

## 2. 酒造好適米

品 種	等級	入 庫 区 分	入庫時概算払			追加概算 2.8.21			
			入庫時概算金	JA独自仮渡金	入庫時概算払計	追 加概算金	JA独自仮渡金返還	差 引	合 計
			A	B	C=A+B	D	E	F=D+E	G=C+F
吟 風 基 星 きたしずく	1等	第1区分	13,500	400	13,900	1,500	-400	1,100	15,000
		第2区分	12,000	400	12,400	1,500	-400	1,100	13,500

## 3. 加工用米

う2.8.21 も2.8.31

品 種	等級	入庫時概算払			追加概算		最終精算		
		入庫時概算金	JA独自仮渡金	入庫時概算払計	追 加概算金	合 計	精算金	合 計	
		A	B	C=A+B	D	G=C+F	H	I=G+H	
加 工 用 う る ち 米	1等	9,800		9,800	100	9,900	519	10,419	2.12.10
加 工 用 も ち 米	1等	8,000		8,000	2,300	10,300	287	10,587	2.12.18

## 4. もち米

品 種	等級	品 位	入庫時概算払			追加概算 2.8.31				追加概算 2.12.18	
			入庫時概算金	JA独自仮渡金	入庫時概算払計	追 加概算金	JA独自仮渡金返還	差 引	合 計	追 加概算金	合 計
			A	B	C=A+B	D	E	F=D+E	G=C+F	H	I=G+H
はくちょうもち	1等	仕分無し	11,500	500	12,000	2,000	-500	1,500	13,500	500	14,000
風の子もち			11,500	500	12,000	2,000	-500	1,500	13,500	500	14,000
きたゆきもち			11,500	500	12,000	2,000	-500	1,500	13,500	500	14,000

# 「自助努力だけでコメ危機を乗り切る」というのは、誤っている

## ■生産サイドの自助努力の限界

コロナ・ショックによる外食や学校給食需要の急減の影響は大きく、さらに、国が生産調整から手を引いた後の自主的生産調整の限界も露呈してきている。これまで数年不作で表面化しなかった面があるが、農家が頑張っても、全体としては作付けが抑制しきれないツケが在庫に噴出してきている。

すでに、概算金は三〇〇円〜一八〇〇円程度下落し、さらに業者間の取引価格は二〇〇〇円〜三〇〇〇円下落している。卸業者も二〇一九年産古米がまだまだ在庫であり、買いたくても買えない状況にあるという。

生産者サイドは、まさに、自助努力で

何とかしようと、「JAグループによるコメ二〇万トン隔離」の方針を打ち出した。しかし、これは、在庫にして問題を先送りするだけで、次年度の市場を圧迫することになる。

## ■地域の崩壊が加速する

コロナ・ショックが加わり、二〇一九年産米の需要は前年比二二万トンもの減少となったが、コロナ・ショックがなくともコメの需要減は近年加速し、年間の傾向的な需要減は一〇万トンに達してきている。

このままでは、「需要減の加速↓米価下落↓自主的生産調整がさらに難しくなり抜け駆け的な販売競争↓さらに米価下がる↓数年の平均より下がった分(の八一%)だけ補填する収入保険では支えきれない↓稲作



すぎき・のぶひろ

1958年三重県生まれ。東京大学農学部卒業後、農林水産省入省。農業総合研究所研究交流科長、九州大学教授などを経て、2006年より現職。専門は農業経済学、国際貿易論。著書に『食の戦争～米国の罠に落ちる日本』(文春新書)、『ここが間違っている!日本の農業問題』(家の光協会)など。

農家の減少が加速し、全国で地域コミュニティが消滅していく↓国民に十分なコメが供給できなくなる」という流れが加速する。消費者にとっても、コメが安くなるからいいではないか、と言っていられないと思われる。コロナ・ショックで、一極集中でない地域生活の大切さ、国産食料の重要性、農家への感謝の気持ちが高まったと言いながら、このままでは、さらに農家が減り、地域が原野に戻り、一極集中が進み、国産食料供給も減っていく、という求められる方向性と完全に逆行した社会に向かってしまふ。

## ■飼料米を食む出口対策をどうするか

それを食い止めるには、①少なくとも、収入保険の基準収入を固定する、②戸別所

得補償制度の復活、③家族労働費を含む生産費をカバーできる米価水準と市場価格との全額を補填するような米国型の不足払いの仕組み（石破元農水大臣が提案していた）を導入し、農家が安心して見通しをもって経営計画が立てられるようにすることが不可欠になっている。

もちろん、いま、まさに顕在化しているように、需要が創出できないとコメが行き場を失う。飼料用米政策が重要となっているが、曇みかける貿易自由化で畜産の打撃が大きいと、エサ米を食べる家畜が激減していくので、早晩、政策が回らなくなってしまう危険もある。

日本だけが、政府が在庫を持つことで需要を調整して米価を維持する仕組みを、一〇〇万トン程度の備蓄米に限定してしまった。米国・カナダ・欧州は穀物や乳製品を支持価格で政府が買い入れて援助や輸出に回す仕組みを今でも維持している。最低限の穀物価格や乳製品価格（生乳価格）を支えるために政府が在庫を引き受ける政策をやめてしまったのは日本だけである。

特に米国は、政府在庫の出口として、援助や輸出信用も活用している。多い年には、輸出信用（焦げ付くのが明らかな相手国に米国政府が保証人になって食料を信用売りし、結局、焦げ付いて米国政府が輸出代金を負担する仕組み）でも四〇〇〇億円、食料援助（全額補助の究極の輸出補助金）で一二〇〇億円も支出している。

これと、同じく、実質的な輸出補助金にあたる不足払いによる輸出穀物の差額補填は、多い年では、コメ、トウモロコシ、小麦の三品目だけの合計で四〇〇〇億円に達している。つまり、これらを足しただけでも、多い年には、約一兆円の実質的輸出補助金を使って「需要創出」している。海外向けの需要創出だけで、これだけの予算を投入しているのは我が国（ほぼゼロ）とは比較にならない。

いまこそ、最低限の所得が確保できる差額補填と政府による販売調整Ⅱ出口対策を、諸外国のように復活・充実しないかぎり、コロナ・ショックで地域が見直されつつあるといいながら、現実には、農村の疲弊は

加速的に進みかねないことを直視すべきである。

### 官民挙げた食料生産・需要振興の 国家戦略構築の年に

「日本の農業は過保護のために衰退した、欧米は競争で成長した」と言う人が多いが、逆である。命を守り、環境を守り、地域を守り、国土・国境を守っている産業を国民みんなで支えるのは欧米では当たり前なのである。それが当たり前でなくなってしまうのが日本なのだ。

生産者サイドの努力はもちろんだが、消費者も自らの主食を支える消費行動を強化してほしい。そして、いまこそ、国がその果たす責任を明確にし、緊急の備蓄米の受け入れ増加がまず必要だが、それを一過性の緊急措置にしまわず、欧米のように、官民挙げた食料生産・需要（輸出や援助を含む）振興の国家戦略の構築と、こういうときにはこういう政策が発動されるからと農家が予見でき、安心して努力できるシステム化された政策構築の機会に二〇二一年がなることを願う。

# するーライフ 2章

『ふるさとはまだ遠く～中国残留孤児がきた75年～』

日曜日朝6時過ぎから30分番組で「目撃につぼん」という番組が放送される。何かのきっかけが視聴することを習慣とさせた。

ひとつのテーマで、個人や集団や社会が抱える問題を追及したドキュメンタリー番組である。

これまでに多くの発見や感動があった。現在コロナ感染拡大非常事態宣言などで国内が揺れ動く時、《ふるさとはまだ遠く～中国残留孤児がきた75年～》に出会った。今はコロナ感染に対してはそれなりの心構えと対処法が伝えられ、感染防止策が講じられている。それでも自由を享受した現代社会に於いて一定のルールでさえ、考え方の違いを楯に受け入れられない層がいる。コロナ感染拡大の具体的な数値を示されても然りである。結果仮に自らに災いが降りかかった時には、この時とばかりに大声を上げるのであろう。しかし第二次世界大戦末期の混乱で肉親と離別し、旧満州などに取り残された「中国残留孤児」にはどのような対処方法があったのだろうか。



終戦当時現在の中国東北地方には軍人の他に155万人の日本人が住んでいた。この中の27万人は開拓団として農業に従事していた。昭和20年8月9日現地では北の国境からソ連軍の対日参戦を受けて大混乱となった。日本人は安全な土地を目指して避難したが、おおかたは着の身着のまま徒歩で何日も何日も銃撃の中を逃げ惑った。鉄道沿線から遠く離れた地に居住した人々は逃避行に困難を極めた。そして極限の疲労と飢餓に苦しみ伝染病も発生して死亡者が続出した。このような混乱状態の中で肉親と生別れ死別した幼い子供で、中国人養父母に育てられた人々を残留孤児と呼んだ。又中国東北地方の厳しい冬を前に止む無く中国人家庭に入った婦人を残留婦人と呼び、これらの人を「中国残留邦人」と総称している。これらの事実を広く国民が共有するまでは長い時間を要した。昭和47年の日中国交正常化と翌年の日中航空協定の締結があり、ようやく堰を切ったように中国からの情報が国民全てに届けられた。当時の夜のニュースでは現地ではぐれた経緯の説明と、成人した孤児の悲痛な叫びが流された。

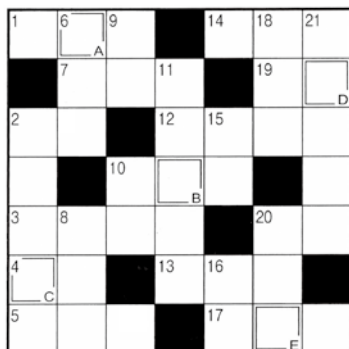
身元確認調査をして故郷である日本に早く帰国させて欲しいと訴える、国民服姿の彼等が今も鮮やかに思い出される。それから更に50年が経過した。日本に帰国した彼等は親兄弟との再会を果たして生まれ育った故郷に帰還した人と、肉親に巡り合うことが叶わなかった人に分かれた。親の故郷に身を置くことで孤独感を凌いだ人も多い。

今80歳を超える女性がカメラの前で涙を浮かべ、(お母さんどこにいるの)と呟く。

東京板橋区にある介護施設「一笑苑」には第2次世界大戦末期の混乱で、肉親と離別し旧満州などに取残された「残留孤児」の人々約50人が通う。戦後75年が経ち人生の終盤に差し掛かった人達は今、筆舌に尽くし難い苦難を乗り越えて来た自らの「歴史」と向き合おうとしている。昭和62年作家山崎豊子は中国残留孤児陸一心の波乱万丈の半生を描いた。その後テレビドラマ化され無名の俳優上川隆也の中国語と演技が高く評価されたことなどが蘇る。残留孤児の現在を映した番組が、何故強烈なものとして心に残ったのだろうか。コロナ感染拡大のニュースに明け暮れる毎日と、銃弾の中を逃げ惑い肉親と離れ離れになったその家族の歴史を考えた。

間もなく迎り着くワクチンによる平和と、いくら時間の経過を重ねても癒えることのない過去を引きずる不幸を考えた。大きな渦となって頭の中をぐるぐる回るだけだった。

## パズル? 頭の体操



### タテのカギ

- 2 たき火の——を念入りに行った
- 6 チョコレートを——にかけて溶かした
- 8 構えてシャッターを切ります
- 9 ジャムやピクルスなどを詰めます
- 10 この——の輪、なかなか外れないんだ
- 11 就職活動の際に書きます
- 15 シャープペンシルに入れます
- 16 浜辺に寄せては返すもの
- 18 文庫本に布製の——を掛けた
- 20 夕方になると家々の窓にともります
- 21 アシカに似た海獣

### ヨコのカギ

- 1 最低気温が0度を下回る日のこと
- 2 どら焼きに挟んである物
- 3 片仮名語でいうとリベンジ
- 4 節分にまきます
- 5 冬、雪国の家の軒にぶら下がる物
- 7 ——の道も一歩から
- 10 牛肉はビーフ、鶏肉は——
- 12 お釣りと一緒に受け取ることも
- 13 多くの人が眠っています
- 14 チョコレートの原料になる植物
- 17 アルコールを含む調味料
- 19 間違った答えに付ける印
- 20 バレンタインデーに伝える人もいます

先月号の  
答え

## パズル? 頭の体操



解答 A B C D  
カ ド マ ツ



# 大変お世話になりました

井 測 智 明

常農部常農販売課常農販売係

(1月31日付)

# JAのあゆみ 1月

- 6日 仕事始め
- 7日 新規就農者激励状贈呈式
- 12日 上川地区農協組合長会・五穀豊穣祈願祭  
内部監査委託・代替的調査 期中Ⅰ  
(～15日)
- 21日 第4回役員推薦会議
- 27日 大雪土地改良区 役員報酬審議委員会  
第12回定例理事会
- 29日 棚卸(～31日)



## 組合員のうごき

(令和2年12月25日現在)

正組合員戸数	321戸
総組合員数	2,290名
正組合員数	501名
うち団体数	32団体
准組合員数	1,789名
うち団体数	61団体

## 第11回定例理事会

令和2年12月25日開催

- 1 ■ 報告事項  
組合員の脱退について  
10名の脱退について報告した。
- 2 臨時給与の支給について  
第11回理事会承認内容に基づき支給内容を報告した。
- 3 行政に対する要望意見書の回答について  
両町より回答書を受理したため、内容を報告した。
- 4 要領の部改正について  
1件の要領改正について報告した。
- 5 資産評価委員会の開催内容報告について  
11月26日の開催内容を報告した。
- 6 令和元年産うるち米最終精算、もち米追加概算払いについて  
うるち米の最終精算、並びにもち米の追加概算払いの内容を報告した。
- 7 ■ 議事  
1 出資金の相続並びに譲渡について  
7件の相続並びに譲渡について承認された。
- 2 組合員の出資減額について  
1件の減額について承認された。
- 3 組合員の資格変更について  
1件の資格変更について承認された。
- 4 組合員の加入報告並びに組合員資格について  
3件の加入(譲受・相続・新規)について承認された。
- 5 第3四半期監事監査顛末について  
12月に実施された第3四半期監事監査の内容を報告し、改善経過など

について承認された。

6 資金の融資について  
1件の融資案件について審議の結果、承認された。

7 理事に対する資金の融資について  
1名の理事に対する融資案件について、該当理事退席のもと審議され承認された。

8 令和2年度資産評価額の設定について  
資産評価委員会の結果に基づき、

承認された。

9 原案どおり承認された。

規程類の部改正について

10 令和2年産大豆そば数量払い仮渡しについて  
各品目に対する単価並びに仮渡金額について審議し、承認された。

## JA図書館コーナー

ご注文は  
地域振興係  
一本所一  
Tel 6-5315  
一支所一  
Tel 2-1113

### 香り豊かな 茶葉でおいしい 至福のスイーツ



坂田阿希子、飯塚有紀子、  
小堀紀代美、ムラヨシマサキ著  
定価：1650円

人気の菓子研究家4人による、紅茶・日本茶・ほうじ茶・中国茶の個性と香りを生かしたお菓子。絶妙な素材の組み合わせと風味を生かす茶葉の使い方はプロならでは。飲むだけじゃない、茶葉の魅力に出合える!

### はじめてでもおいしく作れる リゾット・ピラフ・パエリア



上田淳子著  
定価：1540円

テフロンのフライパンひとつで洋風ごはんが簡単に家庭で作れる! だしや市販のスープの素は不要。米と食材を炒めて水を入れたら、火にかけるだけで完成。食材のうまみで誰でも失敗なく本格的な味に仕上がる。

### 18歳からの自炊塾

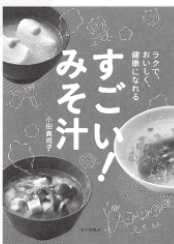
九州大学 生き方が変わる3か月



比良松道一著  
定価：1430円

「3か月自炊をしてSNSに投稿」など一風変わった授業で人気の九州大学の講義「自炊塾」。料理だけでなく、生産者や環境問題など、食と社会の結びつきを学ぶ。その取り組みと変化する学生たちの生き方を綴る。

### ラクで、おいしく、健康になれる すごい! みそ汁



小田真穂子著  
定価：1320円

手軽な健康食として近年注目のみそ汁。初心者向け料理が人気の著者が、だしを使わない作り方のコツや、うまみが出る食材の切り方を丁寧に解説。旬の食材を使えば、アレンジも無限大! 効能別のみそ汁も紹介。



今日の  
オススメ

アサリとイワシの  
ミネストローネ

材料(2人分)

アサリ	250g
イワシ水煮缶	300g
カットマト缶	180g
タマネギ(粗みじん切り)	1/2個
白ワイン	1/4カップ
水	2カップ
大豆水煮缶	100g
ローリエ	1枚
しょうゆ	大さじ2
塩・こしょう	適宜
生パセリ(細かく刻んだもの)	適宜
オリーブ油	大さじ2

作り方

- (1) フライパンにオリーブ油、タマネギ、アサリを入れ、弱火で5分ほど炒める。
- (2) (1)に白ワイン、水、カットマト、ローリエ、イワシの水煮、大豆水煮、しょうゆを入れ、中火で20~30分煮込んでいく。
- (3) 塩・こしょうで味を調え、器に盛り付け仕上げにパセリを振り出せる。

農業者年金で生活の安定を考えませんか？



若い今こそ  
年金  
アクション!

若い農業者の皆さん!  
自分の老後自分で守れますか?

若い農業者の方は、国民年金の上乗せの公的な年金「農業者年金」に加入して安心で豊かな老後を!

ポイント 1 国庫補助で手厚い支援! 1万円の自己負担で **2万円の積立てが実現!**

まだ経営が安定していない若いうちは、月々の負担が少ない特例保険料(国庫補助)を活用して豊かな老後生活に備えましょう。

ポイント 2 早く加入すれば、**国庫補助が長く受けられる**

国庫補助部分の年金を受給するには、経営継承が必要です。国庫補助分を除いた本人負担分についての年金(農業者老齢年金)は、原則65歳から生涯受け取ることができません(60歳からの繰り上げ受給も可能です)。

ポイント 3 自ら支払った **全額社会保険料控除**の対象! さらに **保険料は自由に選べる!**

国庫補助を受けていても、自ら支払った保険料は、家族の分も含めて全額社会保険料控除の対象です。また、増収したときは節税効果を期待して、いつでも通常加入に変更でき、保険料の額も見直せます。



農業者年金の内容やご相談については、

最寄りのJAが農業委員会または農業者年金基金にお問い合わせください。

農業者年金基金

▶相談員TEL：03-3502-3199

▶企画調整室TEL：03-3502-3942

詳しくは <https://www.nounen.go.jp>

お問い合わせは地域振興係まで 本所 Tel: 6-5315 支所 Tel: 2-1113